

第 74 回 全日本実業団対抗陸上競技選手権 10000m

【出場結果】

実施日 : 7月5日(日)

会 場 : 北海道千歳市 青葉陸上競技場

出場者 : 坪井 響己

出場種目・出場者・リザルト

氏 名	坪 井
種 目	10000m
タイム	30'37"28
順 位	23/24 位

【レポート】

9月に京都で開催が予定されている全日本実業団対抗陸上競技選手権は、近年の夏季における暑熱リスクを考慮し、10000mのみを7月に分離開催する形へと変更されました。

本大会は北海道千歳市で開催され、レース当日は肌寒さを感じるほどの気象条件となり、長距離レースとしては絶好のコンディションの中で大会が行われました。

当社からは、昨年度に大会参加標準記録である28分40秒を突破した坪井がエントリーし、全国の実業団トップクラスの選手が集うハイレベルなレースに挑み、貴重な経験を積む機会となりました。



全国のエリート実業団選手と肩を並べる坪井

坪井は、今シーズンに入り、怪我や体調不良に悩まされ、なかなか本来のコンディションでレースに臨むことが出来ておりませんでした。初出場となる全日本実業団選手権に向けて、コンディション整えてきました。

レースは、有力選手が積極的に集団を引っ張り、2分50秒／kmを切るハイペースとなりましたが、坪井も集団の最後方につけ集団のペースに合わせてレースを進めました。

ペースはその後ハイペースで進み、2000mを過ぎたあたりから坪井の表情に苦しさが見え始めると、集団から引き離され、単独走を余儀なくされました。



集団後方でレースを進める坪井

単独走となった坪井は、必死にペースを維持しようと粘り強い走りを見せました。

しかし、序盤からのハイペースが大きく影響して中盤以降は徐々にペースが低下し、それでも最後まで諦めることなく前を追い続けました。

序盤のハイペースによって失速する選手が見られる中、坪井は持ち前の粘りの走りを見せ、終盤には1人を抜き去って、30分37秒台でのゴールとなりました。

厳しいレース展開となりましたが、初出場となる全日本実業団選手権の舞台で、最後まで粘り抜く坪井の姿が印象に残るレースとなりました。



ハイペースの展開に序盤から単独走を余儀なくなされた坪井

【総 評】

初めての全日本実業団選手権という大舞台に臨んだ坪井は、高いモチベーションを持ってレースに挑みましたが、全国トップレベルの選手が集うハイレベルなレースの中では、勝負に加わることはできませんでした。

今回のレースを通じて、このレベルの大会で勝負するためには、自己ベストを更新できるほどのコンディションで臨むことが必要不可欠であることを、あらためて実感させられる結果となりました。

一方で、初めて全日本実業団選手権の舞台を経験できたことは、坪井にとって今後につながる大きな財産になったものと思います。

これから迎える夏場にしっかりと走り込みを行い、秋の駅伝をはじめとした今後のレースでは、この経験を糧に成長した姿を見せてくれることが期待されます。

引き続き、皆さまの温かいご声援をよろしくお願いいたします。

以 上